

仕 様 書

1 件 名

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所
職員等に対する健康診断に関する業務（単価契約）

2 委託期間

令和2年4月1日から令和6年3月31日まで

3 委託内容

（1）一般健康診断（2次健康診断も含む）

- ① 雇入時健康診断
- ② 定期健康診断

（2）特別健康診断（2次健康診断も含む）

- ① 特定化学物質等取扱業務従事職員特別健康診断
- ② 有機溶剤業務従事職員特別健康診断
- ③ 振動業務従事職員特別健康診断
- ④ VDT作業従事職員特別健康診断
- ⑤ 農薬散布業務従事職員特別健康診断

（3）胃検診

（4）大腸検診

（5）ストレスチェック

4 委託概要

（1）一般健康診断（2次健康診断も含む）

① 雇入時健康診断

ア 実施時期

(ア) 「健康診断実施計画書」（別紙1）のとおり

(イ) 日程については、別途協議する場合がある。また、災害等により、中止、延期及び実施場所の変更等をする場合についても、別途協議するものとする。

イ 実施場所

契約締結先の検診施設

ウ 検査項目

「定期健康診断の検査項目」（別紙2）のとおり

エ 予定人数

30人程度（うち2次健診は0～数人程度）

*発注予定数量は、あくまで想定される数量であり、発注することを約束する

数量ではない。実際の発注が、発注予定数量に満たない場合であっても、法人は一切の責めを負わない。

② 定期健康診断

ア 実施時期

「健康診断実施計画書」(別紙1)のとおり
(詳細は、別途協議する)

イ 実施場所

大阪府立環境農林水産総合研究所
大阪府羽曳野市尺度442

ウ 検査項目

「定期健康診断の検査項目」(別紙2)のとおり

エ 予定人数

600人程度(うち2次健診は0～数人程度)

*発注予定数量は、あくまで想定される数量であり、発注することを約束する数量ではない。実際の発注が、発注予定数量に満たない場合であっても、法人は一切の責めを負わない。

オ その他

- (ア) 健診に必要な受診票等については、少なくとも実施の2週間前までには各所属(別紙5のとおり)に送付すること。
(送付にかかる経費は、受託者が負担すること。)
- (イ) 対象職員は、所属指定日以外でも受診することができる。
- (ウ) 受付及び会場設営等については健診機関が行うこと。
- (エ) 定期健康診断2次検診の胸部エックス線撮影は、直接撮影で対応すること。
- (オ) 特別健康診断のうち①②の1回目を同時に実施し、検査項目の重複を避け効率化を図ること。

(2) 特別健康診断(2次健康診断も含む)

① 実施時期

「健康診断実施計画書」(別紙1)のとおり
(詳細は、別途協議する)

② 実施場所

大阪府立環境農林水産総合研究所 (1回目 7月)
契約委託先の検診施設 (2回目 2月)

③ 検査項目

「特別健康診断の検査項目」(別紙3)のとおり

④ 予定人数

- ア 特定化学物質等取扱業務従事職員特別健康診断 150人程度
- イ 有機溶剤業務従事職員特別健康診断 170人程度

ウ 振動業務従事職員特別健康診断	0～数人程度
エ V D T作業従事職員特別健康診断	60人程度
オ 農薬散布業務従事職員特別健康診断	10人程度

*発注予定数量は、あくまで想定される数量であり、発注することを約束する数量ではない。実際の発注が、発注予定数量に満たない場合であっても、法人は一切の責めを負わない。

⑤ その他

ア 健診に必要な受診票等については、少なくとも実施の2週間前までには各所属（別紙5のとおり）に送付すること。

（送付にかかる経費は、受託者が負担すること。）

イ ④アから④ウについては、年2回実施し、④エ及びオは年1回実施する。

また、上記④ア及び④イの特別健康診断については、1回目は一般定期健康診断と同時に実施することで検査項目の重複を避け効率化を図ること。（他の健診においても可能であれば法人と協議のうえ、同時に実施し、効率化を図ること。）

ウ 対象職員は、所属指定日以外でも受診することができる。

エ 受付及び会場設営等については検診機関が行うこと。

（3）胃検診

① 実施時期

「健康診断実施計画書」（別紙1）のとおり

（詳細は、別途協議する）

② 実施場所

大阪府立環境農林水産総合研究所

③ 予定人数

220人程度（原則年度当初40歳以上の職員）

*発注予定数量は、あくまで想定される数量であり、発注することを約束する数量ではない。実際の発注が、発注予定数量に満たない場合であっても、法人は一切の責めを負わない。

④ 検査方法

ア 問診（既往歴及び自覚症状の有無の調査）では、問診票に基づき必要項目の聞き取りを行うこととする。

イ 胃部エックス線検査は、デジタル撮影または直接撮影によるものとする。

⑤ 胃部エックス線写真の読影

読影については、十分な経験を有する2名以上の医師（うち1名は日本消化器がん検診学会の認定医等であること）により行うものとする。

⑥ 精密検査に係る事務

「要精密検査」と判定された者が出た場合、原則、法人が指定する検診機関で精密検査を実施することから、速やかに総務グループに対象者名簿（別紙6）により報告する

ものとする。また、受診者に対して、胃部レントゲンフィルムや医師所見記録またはそれに代わるものの借用について対応すること。ただし、緊急を要する場合、または受診者が他の検診機関を希望する場合は、精密検査に必要な資料を提供すること。

⑦ その他

ア 受診に必要な書類及び検査機器等の送付等については、少なくとも実施の2週間前までには各所属（別紙5のとおり）に送付すること。

（送付にかかる経費は、受託者が負担すること。）

イ 対象職員は、所属指定日以外でも受診することができる。

ウ 検診の実施は、法人が指定する府内の各実施場所を巡回し実施することとし、受付及び会場設営等についても検診機関が行うこと。

エ 検査業務を実施するにあたっては、「医療法」その他関係法規を遵守し、誠実に履行しなければならない。

（４）大腸検診

① 実施時期

「健康診断実施計画書」（別紙1）のとおり

（詳細は、別途協議する）

② 実施場所

大阪府立環境農林水産総合研究所

③ 予定人数

150人程度（原則年度当初40歳以上の職員）

*発注予定数量は、あくまで想定される数量であり、発注することを約束する数量ではない。実際の発注が、発注予定数量に満たない場合であっても、法人は一切の責めを負わない。

④ 検査方法

ア 問診（既往歴及び自覚症状の有無の調査）では、問診票に基づき必要項目の聞き取りを行うこととする。

イ 検査は免疫便潜血反応検査2日法とする。

⑤ 精密検査に係る事務

「要精密検査」と判定された者が出た場合、速やかに総務グループに対象者名（別紙7）により報告するものとする。また、「精密検査のお知らせ」（別紙8）を本人あて送付するとともに、精密検査に必要な資料を準備するものとする。なお、精密検査を実施した場合、その費用については受診者の自己負担とする。

⑥ その他

ア 受診に必要な書類及び検査機器等の送付等については、少なくとも実施の2週間前までには各所属（別紙5のとおり）に送付すること。

（送付にかかる経費は、受託者が負担すること。）

イ 対象職員は、所属指定日以外でも受診することができる。

- ウ 受付及び会場設営等については検診機関が行うこと。
- エ 検査業務を実施するにあたっては、「医療法」その他関係法規を遵守し、誠実に履行しなければならない。

(5) ストレスチェック

① 実施時期

「健康診断実施計画書」(別紙1)のとおり
(詳細は、別途協議する)

② 実施場所

大阪府立環境農林水産総合研究所

③ 予定人数

660人程度

*発注予定数量は、あくまで想定される数量であり、発注することを約束する数量ではない。実際の発注が、発注予定数量に満たない場合であっても、法人は一切の責めを負わない。

④ 概要

労働安全衛生法に基づくストレスチェックにおいて、職業性ストレス簡易調査表(57項目調査票)を利用し、調査、分析を実施する。

委託内容として、

- ア ストレスチェック票の作成・実施案内の作成、納品
- イ 調査の実施・回収
- ウ 回答に対する分析・評価・結果通知
- エ 高ストレス者の抽出
- オ 指導受診勧奨
- カ 集団分析データの作成・納品

を行う。

また、業務の実施に当たっては

- ア 事前打ち合わせ
- イ ストレスチェックの実施
- ウ ストレス者対応等

の各段階において、より効果的に実施できるよう、積極的な企画提案及び当法人との協議を行う。

⑤ 実施方法

- ア ストレスチェック票等の作成・納品

ストレスチェック票は、厚生労働省の委託研究により作成された「職業性ストレス簡易調査票」に基づく57項目の調査が行えること。レイアウトは、事前打ち合わせの段階で受託者が提案するものとし、当法人と十分協議のうえ、必要があれば修正を行うこと

とする。

(7) 当法人からは、下記のストレスチェック対象者のデータを事前に提供する。

調査開始後に対象者の追加、変更があった場合は、その都度対応することとする。

事前提供データ：

所属コード、所属名、職階、職員番号、氏名、カナ氏名、性別、生年月日、年齢

(i) ストレスチェックに必要な納品物は以下の通りとし、少なくとも実施の2週間前までには各所属（別紙5のとおり）に送付すること。（送付にかかる経費は、受託者が負担すること。）

(a) ストレスチェック票

(b) 実施案内

(c) 調査票提出用封筒（窓あり、のり付き）

イ ストレスチェック調査の実施・回収

ストレスチェック調査の実施期間（対象者回答期間）は概ね2週間とする。提出されるストレスチェック票については、健康診断実施時および随時郵送にて回収を行う。郵送での回収費用については、受託者負担とする。

5 検査結果の判定

(1) 胸部レントゲンの読影について、必要なものについては比較読影を、また、異なる医師による二重読影を行うこと。

(2) 各種健康診断における個別の検査結果の判定、医師コメントは、基本的には健診機関の基準において行う。ただし、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所の指示に適合するように、また、受診者が理解しやすいように、基準、レントゲンや所見コード、医師コメントなどについて協議し、調整を図るものとする。総合判定、事後の措置は、健診結果の報告をもとに法人で行う。

(3) 健診における各検査及び所見の結果が、一定の基準を超えた場合は、速やかに連絡すること。

(4) ストレスチェックの結果については、当法人より調査票を回収後、個人結果の評価作業を速やかに行い、個人宛結果通知を行う。結果通知の様式は、事前打ち合わせの段階で当法人に提示するものとし、その内容や体裁については、基本的な項目を列記するに留まらず、職員が理解しやすい体裁にするとともに、セルフケアの手助けとなるような助言等を含めるなど、実施工夫を凝らしたものとする。当法人と十分協議のうえ、必要があれば修正・変更を行うこととする。

6 受診結果

(1) 一般健康診断に係る結果報告（雇入時含む）

受診報告書、未受診者リスト並びに受診者名簿については、法人が指定する形式（エクセル）で実施日の3日後までには報告すること。

健康診断個人票並びに結果のお知らせについては、所属ごとに50音順でとりまとめ、

受診後2週間以内に法人の担当者に提出すること。結果のお知らせは、2部作成し、1部は法人の控えとし、1部は受診者個人宛とする。また、個人宛は個々に封入し、所属、名前が分かる状態とする。結果データについては、法人が指定する形式（エクセル又は**CSV**）で作成のうえ、**CD-ROM**もしくは**USB**メモリーにより、受診後2週間以内に報告すること。詳細は別途協議する。

（2）一般健康診断2次健診に係る結果報告

健康診断個人票、受診者名簿、結果のお知らせ及び結果データについては、（1）に同じ。

（3）特別健康診断（2次健診含む）に係る結果報告

問診票、健康診断個人票、受診者名簿、結果のお知らせ及び結果データについては、（1）に同じ。

（4）胸部レントゲン、心電図の判定にかかる結果報告

上記（1）～（3）までの結果報告時において、胸部レントゲン、心電図の判定については、当研究所の判定基準に置き換えて報告すること。

（5）各健診（検診も含む）ごとの集計結果の報告

要精検者一覧表、所属別の結果一覧表、労働基準局への報告様式に基づく集計結果等の報告書を作成し報告すること。詳細は別途協議する。

（6）ストレスチェックに係る結果報告

① 納品物は以下のとおりとする。

ア 受検者への個人結果報告書

※所属名、職員番号、氏名、生年月日及び年齢を印字する。

イ 個人結果通知用封筒（窓開き、のり付き）

ウ 職員ごとに、アに職員番号及び氏名が見える状態にして封緘する。

エ 受検者全員分の結果通知（アと同じもの。当法人産業医用）

オ エと同様の加工分析できるデータ

（仕様については、事前打ち合わせの段階で当法人に提示。）

カ 調査対象者の受検の有無一覧データ

（仕様については、事前打ち合わせの段階で当法人に提示。）

② 面接指導対象者の選定・受診勧奨

ア 評価の結果、高ストレスと評価され、面接指導の対象となった者に対し、産業医による面接指導を受けるよう勧奨し、併せて、面接指導を希望しない者に対しては、当法人の相談窓口等の案内を必要に応じて行う。

イ 面接指導の対象者には、上記（6）①イの個人結果報告書に、以下の書類を追加封入する。

（イ） 産業医による面接指導の受診勧奨案内文

（イ） 実施機関が用意する同封物（相談窓口パンフレット等）

（イ）、（イ）の様式や内容等詳細については、事前打ち合わせの段階で当法人と十分

協議し、決定する。)

③ 集団分析データの作成・納品

ア 当法人より調査票を回収後、分析作業を速やかに行い、当法人宛に結果報告を行う。結果通知様式は、事前打ち合わせの段階で当法人に提示するものとし、その内容や体裁については、基本的な項目を列記するに留まらず、当法人が理解・活用しやすいような体裁にするとともに、職場環境改善の手助けとなるような助言等を含めるなど、実施機関で工夫を凝らしたものとする。当法人と十分協議のうえ、必要があれば修正・変更を行うこととする。

イ 分析単位は、所属部ごととする。(農業大学校は、総務部に含める。)

ウ 納品物は以下の通りとする

(7) 分析結果通知

(i) 分析結果通知と同様の加工分析できるデータ

(仕様については、事前打ち合わせの段階で当法人に提示。)

7 健康診断に係る事前準備について

(1) 健康診断に係る実施日、実施時間及び実施方法については、法人と受託者が調整のうえ、決定する。なお、健診の実施方法等について法人から留意事項として指示することもある。

(2) 健康診断に係る問診票や健診結果のお知らせについては、法人と受託者の間で、協議の上、作成するものとする。

健診機関が使用する検査方法、単位、基準範囲、判定基準などの情報を法人の求めに応じて提供し、また、変更がある場合は報告すること。

8 健診実施時における留意事項

(1) 健診機関においては、健診に従事する総合責任者、現場責任者をそれぞれ選任し、総務部総務グループへ報告すること。また、責任者に変更がある場合も、速やかに報告すること。

(2) 健診機関は、健診実施に必要な数の医師、看護師等を健診場所へ派遣すること。

(3) 健診機関は、実施当日の受付名簿を作成すること。

(4) 健診機関は、健診実施場所において、医師や看護師等健診に係る業務員に健診機関名及び氏名を明記した名札等を着用させること。

(5) 巡回健診の際は、必要な巡回車等の検査機器の整備、管理には万全を期し、健診実施計画どおりに実施すること。併せて、開始時間、健診時間等も厳守すること。

(6) 健診実施時には、定型的な順路をあらかじめ定め、受診者に検査や計測の順序を明示するとともに、待ち時間の短縮にも努めること。

(7) 検査必要項目について、業務員が確実に把握し、未実施の項目が発生しないよう留意すること。

(8) 健診会場にて事故等異常事態が発生した場合は、速やかに報告すること。

9 精度管理

(1) 健診機関は、健康診断の質の向上を図るために、次の項目の実施に努めること。

① 検査結果の正確性を確保できるようにするための内部精度管理及び外部精度管理

② 健康診断を実施する者の知識及び技能の向上を図るための研修

(2) 法人が求めた場合は、精度管理の実施状況について報告すること。

10 個人情報の取り扱い

この事務を処理するための個人情報の取扱いについては、「個人情報取扱特記事項(別紙4)」を守らなければならないものとする。

11 誓約書の提出の確認

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所発注工事等に係る暴力団排除等手続要領に規定する暴力団又は暴力団密接関係者でない旨の誓約書を提出すること。

12 その他

(1) 胸部レントゲンや心電図、問診、医師所見等、またはそれに代わる資料の借用について、速やかに対応できる体制が整っていること。

(2) 2次健診など別途日程を調整する必要がある健診について対応が可能であり、実施場所が健診機関付属の医療施設でも実施可能なこと。

(3) 健診結果、フィルム等は個人の経年管理ができるようデータを5年間保存すること。また、健康診断記録を保管し、2回目以降の健康診断において、前回までの健康診断成績を問診時及び診察時に参照できること。

(4) 法人の要求に基づき、結果データの統計処理、資料作成が可能であること。

(5) 健診業務実施に伴って発生する廃棄物は、健診機関が責任を持って適法に処分し、それに係る経費は、健診機関の負担とすること。

(6) 事務に係る消耗品及び機器の搬入・運搬、健診会場までの旅費等、本件委託に伴う諸経費は受託者が負担すること。

(7) 契約日から当該年度末までの事前調整等に係る諸経費は受託者が負担すること。

(8) その他、この仕様書に定めのない事項や法改正等に伴う検査方法の変更等は、法人と受託者が協議して決める。

健康診断実施計画書

(別紙1)

健康診断			4	月	5	月	6	月	7	月	8	月	9	月	10	月	11	月	12	月	1	月	2	月	3	月	備考
一般健康診断	雇入時健康診断	1次	1																								中途採用者報告がある都度実施
		2次		1																							
	定期健康診断	1次							4																		
		2次								1																	

健康診断			4	月	5	月	6	月	7	月	8	月	9	月	10	月	11	月	12	月	1	月	2	月	3	月	備考
特別健康診断	特定化学物質等取扱業務従事職員特別健康診断	第1回							4																		2次健診あり
		第2回																						3			2次健診あり
	有機溶剤業務従事職員特別健康診断	第1回							4																		2次健診あり
		第2回																						3			2次健診あり
	振動業務従事職員特別健康診断	第1回							1																		
		第2回																						1			
	VDT作業従事職員特別健康診断	就業時							1																		2次健診あり
		定期							1																		2次健診あり
	農薬散布業務従事職員特別健康診断								1																		2次健診あり
	胃検診								4																		
大腸検診									4																		
ストレスチェック									1																		

- ※ 実施時期の[数字]は、健康診断に要するおおよその日数である。(例:2＝2日間)
- ※ 第1回特別健診の歯科健診は2日間、第2回特別健診の歯科健診は1日間の予定。
- ※ 実施時期は、一部変更することがある。
- ※ 第1回定期健康診断及び第1回特別健康診断(7月の予定)は環境農林水産総合研究所で実施する。
その他は健診機関にて受診する。

一般健康診断の検査項目

(別紙2)

	雇 入 時 健 康 診 断	定 期 健 康 診 断			定 期 健 康 診 断 (2 次 健 診)							
		満30歳未満	満30歳以上 35歳未満	満35歳以上	胸部	心電図	尿	糖代謝	血圧	肝機能	貧血	腎機能
身長	○	○	○	○								
体重	○	○	○	○								
標準体重	○	○	○	○								
BMI	○	○	○	○								
腹囲	○											
視力(矯正視力)	○	○	○	○								
検尿蛋白	○	○	○	○			○					
尿潜血	○	○	○	○			○					
尿糖	○	○	○	○								
検尿(尿チンサ)							△					
血圧測定	○	○	○	○		○			○			
平均血圧									○			
AST/GOT	○	○	○	○						○		
ALT/GPT	○	○	○	○						○		
γ-GTP	○	○	○	○						○		
ALP										○		
ChE										○		
ZTT										○		
総蛋白										○		
アルブミン										○		
赤血球数	○	○	○	○							○	
白血球数											○	
色素量	○	○	○	○							○	
ヘマトクリット値											○	
MCV											○	
MCH											○	
MCHC											○	
血小板											○	
総コレステロール	○	○	○	○								
HDLコレステロール	○	○	○	○								
LDLコレステロール	○	○	○	○								
中性脂肪	○	○	○	○								
血糖	○	○	○	○								
HbA1c(NGSP)	○	○	○	○				○				
総コレステロール(空腹時)												
中性脂肪(空腹時)												
空腹時血糖								○				
Na												
K												
Cl												
Ca												
クレアチニン												▲
eGFR												▲
尿酸	○	○	○	○								▲
尿素窒素												▲
血清鉄											○	
不飽和鉄結合能											○	
胸部X線デジタル撮影または直接撮影	○	○	○	○								
胸部X線直接撮影					○							
聴 会話域		○	○									
力 オージオメーター	○			○								
安静時心電図	○		○	○		○						
負荷心電図												
問診	○	○	○	○	○							
医師の診察	○	○	○	○	○	○						

△:蛋白(+)以上、潜血(++)以上または産業医指示 ▲:産業医指示

特別健康診断の検査項目

(別紙3)

	特化物	有機機	振動	V	D	T	農薬
	第1・2回	第1・2回	第1・2回	就業時	定期	2次	第1回
問診	○	○	○	○	○		○
身長			○				
体重	○※		○				
視力							
両眼視機能検査 ＜視力＜5m・50cm＞、乱視＞				○	▲		
屈折検査				○	▲		
眼位検査				○	▲		
眼底検査		○※					
調節機能検査				○	▲		
白内障に関する眼の検査 ＜水晶体の混濁の有無＞							
皮膚の検査 ＜発赤・乾燥又は縦じわ・潰瘍・爪の異常の有無＞	○※						
握力	○※		○				
維持握力			○				
タッピング							
つまみ力			○				
指尖皮膚温			○				
振動覚			○				
爪圧迫テスト			○				
検尿蛋白	○※	○					
尿潜血	○※						
尿糖	○※						
尿中代謝物量		○※					
尿中ウロビリノーゲン	○※						
尿尿チンサ	○※注	○※ 尿蛋白(+)以上					
血圧測定	○※		○				
血AST/GOT	○※	○※					○
ALT/GPT	○※	○※					○
γ-GTP	○※	○※					○
ALP	○※						○
血清コリンエステラーゼ							○
総ビリルビン	○※						○
赤血球数	○※	○※					○
白血球数	○※						○
血色素量		○※					
ヘマトクリット値							
白血球百分率							
＜リンパ球・単球・好中球・好酸球・好塩基球・異形リンパ球＞							
液末梢血液一般検査	○※						
胸部X線直接撮影	○※						
部位X線直接撮影							
予測肺活量	○※						
努力肺活量	○※						
%肺活量	○※						
1秒率	○※						
聴力(オーディオメーター)							
運動機能検査							
神経学的検査						○	
歯科医師の診察	○※						
医師の診察	○	○	○(整形外科)	○	▲	○	

▲:産業医指示 ※:取扱う特定化学物質及び有機溶剤による ●:健診医指示 注:取扱う特定化学物質によるもの及び検尿の結果、尿蛋白(+)以上又は尿潜血(2+)以上の場合尿チンサあり

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

- 1 個人情報の保護の重要性を認識し、この委託業務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

(秘密の保持)

- 2 この委託業務に関して知り得た情報をみだりに他人に知らせてはならない。この委託業務が終了し、又は解除された後においても、同様とする。

(委託業務従事者への周知)

- 3 この委託業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においてもこの委託業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に必要な事項を周知させるものとする。

(再委託の禁止)

- 4 この委託業務の全部又は一部を第三者に委託してはならない。

(適正管理)

- 5 この委託業務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失又は損傷の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(収集の制限)

- 6 この委託業務を行うために個人情報を収集するときは、業務の目的を達成するために必要な範囲で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(目的外利用・提供の禁止)

- 7 この委託業務に関して知り得た個人情報を委託業務の目的以外の目的のために利用し、又は法人の承諾なしに第三者に提供してはならない。

(複写、複製の禁止)

- 8 この委託業務を行うために法人から引き渡された個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(資料等の返還等)

- 9 この委託業務を処理するために、法人から提供を受けた「個人情報が記録された資料等」を、この委託業務完了後直ちに返還し、又は引き渡すものとする。

(廃棄)

- 10 この委託業務に関して知り得た個人情報について、保有する必要がなくなったときは、確実かつ速やかに廃棄し、又は消去しなければならない。

(調査)

- 11 法人は、委託業務の執行に当たり取り扱っている個人情報の状況について、随時調査することができる。

(事故発生時における報告)

- 12 この委託業務に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに法人に報告し、法人の指示に従うものとする。

受診に必要な書類及び検査機器等の送付先

(別紙5)

No.	所属名	郵便番号	住所	連絡先
1	環境農林水産総合研究所	583-0862	羽曳野市尺度442	072-958-6551
2	水産技術センター	599-0311	泉南郡岬町多奈川谷川2926-1	072-495-5252
3	生物多様性センター	572-0088	寝屋川市木屋元町10-4	072-833-2770

(様式第6号)

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長様

胃

令和 年 月 日

検診機関名

胃部検診の結果により精密検査が必要となった者について下記のとおり報告します。(※大阪がん循環器病予防センターにて記入)

	職 員 番 号	所 属	ふ り が な 氏 名 生年月日 (歳)	住 所		受診日	ラ ン ク	場 所 区 分	契 約 区 分	※がん センター 予約日時
	※検 診 者 番 号									
1			. . (歳)	〒 TEL		/	A	1	契 ・ 保	月 日 :
							B	2		
2			. . (歳)	〒 TEL		/	A	1	契 ・ 保	月 日 :
							B	2		
3			. . (歳)	〒 TEL		/	A	1	契 ・ 保	月 日 :
							B	2		

〔検診機関の方へ〕 ・太線の枠内のみ記入してください。

- ・胃部検診の結果のランクについて **A** : 至急、直ちに精密検査を必要とする者
 B : 胃集団検診日から約 1 ヶ月後に精密検査を行う者
- ・場所区分について 1 : 大阪がん循環器病予防センターで受診する場合
 2 : その他の検診機関で受診する場合
- ・報告の時期は、至急「**A**」の場合を除いて1週間分をまとめて報告してください。
 「**A**」に該当する者が名簿に入っているときは、速やかに送付してください。

(様式第7号)

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長様

大腸

令和 年 月 日

検診機関名

大腸検診の結果により精密検査が必要となった者について下記のとおり報告します。

	職 員 番 号	所 属	ふ り が な 氏 名 生年月日 (歳)	住 所		受診日	ラン ク	場所 区分	契約 区分	備 考
	※検 診 者 番 号									
1			. . (歳)	〒		/	A B	1 ・ 2	契 ・ 保	
2			. . (歳)	〒		/	A B	1 ・ 2	契 ・ 保	
3			. . (歳)	〒		/	A B	1 ・ 2	契 ・ 保	

〔検診機関の方へ〕 ・太線の枠内のみ記入してください。

- ・大腸検診の結果のランクについて **A** : 至急、直ちに精密検査を必要とする者
 B : 大腸検診日から約**1**ヵ月後に精密検査を行う者

- ・場所区分について 1 : 検診機関で受診する場合
 2 : その他の検診機関で受診する場合

- ・報告の時期は、至急「**A**」の場合を除いて1週間分をまとめて報告してください。

「**A**」に該当する者が名簿に入っているときは、速やかに送付してください。

精密検査のお知らせ

令和 年 月 日

様

令和 年 月 日に受診されました大腸検査の結果、要精密検査の指示が出ております。

所在地
検診機関
電話番号

印

【職員の方へ】

精密検査を受診する際は、「職務専念の義務の免除」となりますので、本書を所属長へ提出してください。

大阪府立環境農林水産総合研究所総務部総務グループ

【検診機関へのお願い】

本書は、本所職員が精密検査（2次検診）を受診する際、職務専念の義務の免除を受ける場合に使用します。

大腸検診の結果、要精密検査の指示が出された場合に、本書を発行していただき、大腸検診の検査結果通知と一緒に受診者へお渡してください。

大阪府立環境農林水産総合研究所総務部総務グループ